

親子お出かけバスツアー

自治体情報 北海道名寄市

人口 / 29,869人 標準財政規模 / 12,169百万円

担当課 健康福祉部こども未来課
電話番号 代表 01654-3-2111
実施主体 名寄市
関連ホームページ <http://www.city.nayoro.lg.jp/>

事業期間 平成24年度から

関係施策分類 ①

予算関連データ

総事業費：3,914千円

名称	所管	金額(千円)
一般財源	-	2,914
いきいきふるさと推進事業助成金	(財)北海道市町村振興協会	1,000

施策のポイント

子育て中の親と幼児を対象に、休所中の保育所施設へのバスツアーを定期開催することにより、親の子育てでの孤立化を防ぐとともに、世代間交流及び農村地域での遊びによる幼児の心身の成長、高齢化が進む集落の活性化など多面的な効果を生んでいる。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

転勤族が多い市内の子育て世代は、身寄りも無く子育てが孤立化する傾向が多くなっておりませんが、この事業を行い、日進地区のお年寄りと交流することにより「名寄のおじいちゃん・おばあちゃん」と呼べる関係を築けるような取組みを行う。日進は農村地区で、少子化・高齢化が進んでいます。保育所は少子化の影響で平成19年12月より休所しており、遊休施設となっておりましたが、この事業により有効活用し、地域の活性化を図ることも目的としおります。

2. 取組の具体的内容

市がチャーターしたバスに親子で乗り、片道18キロ程離れた旧日進保育所へ出向き、保育士同伴の上遊びに出かける。現地には、日進地区の老人クラブに来ていただき、一緒に遊んでいただく。親子にはお弁当を持参していただき、昼食をとってからバスに揺られて帰ってくるツアーを、月1回ペースで開催する。9月には日進地区に協力いただき、収穫祭、運動会を開催。12月には老人クラブに協力をいただき、もちつきを開催し、日進地区の方々と交流を行う。収穫祭では、スイートコーン及びじゃがいもを地元農家の全面的な協力のもと行いました。昼食に豚汁を用意し、お年寄りと一緒においしくいただきました。運動会では多くの老人クラブ会員の方に参加いただき、競技へ参加していただきました。もちつきでは、風連地区産のもち米（作付面積・収穫量全国一）を使用し、地元食材の素晴らしさも伝えていきます。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

子育て中の親が安心して遊ばせることのできる場所の提供ができる。同じ子育て中の友達を作り、悩みなどを相談できる関係を築いていただき、保育士も支援を行うことにより、子育てを楽しんでいただく。老人との交流により、子育ての知恵をいただいたり、お年寄りには子どもとの遊びが楽しみになり、活力となる。当初の計画では、1回のツアーに大型バス1台を予定。

4. 現在までの実績・成果

月1回のツアーを行ってきましたが、毎月大型バス2台の稼働となっており、予想参加数の2倍となっている。9月の収穫祭には親子で120名の参加があり、収穫野菜は日進地区の農家が快く提供して下さり、順調に運営できている。日進地区のお年寄りは、ツアーの日に家の窓からバスが来るのを待っていてくれる方まであらわれ、参加しているお母さん方から、以外にもお年寄りとの更なる交流を求める声が出てきている。倦厭されると思われた弁当作りですが、母親からは月に一度の楽しみですとの声をいただき驚いている。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦勞した点とその対処法・解決策など

この事業を周知するため、市の広報はもちろん、子育て支援事業としてツアーとは別に、月1回市内の公園へ公立保育所長や保育所の栄養士が出向き、親子に集まっていたいただき、遊びやアレルギー食等の相談を受ける「青空保育」を実施し、参加していただいた親子に「親子お出かけバスツアー」の宣伝も行い、参加親子の拡大に努めている。

6. 今後の課題と展開

参加者から、来年度も引き続き事業継続を望む声が上がっており、日進地区との交流が盛んに行われるような内容を再考しなければならない。